

## ～未来(みらい)～

第2号(2018年3月発行)

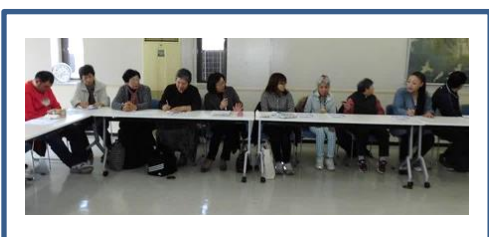
発行連絡先: デイさぼーと・ぴーなっつ TEL0244(24)0216

青空の下に桜のつぼみがふくらみ、足元にはオオイヌノフグリが可憐に花を咲かせています。春の陽気が嬉しいですが、花粉症に悩む人も多いようですね。

さて昨年10月に‘障がい福祉に関する要望書’を南相馬市長へ提出し、その10月末には一度目の「行政との懇談会」の開催、また12月には、南相馬市より要望書に対する回答書を頂きました。

そして今年2月28日、「行政との懇談会 part2」が開催されました。南相馬市社会福祉課障がい福祉係より4名、障がい当事者8名、家族6名、事業所職員13名の合計31名の参加がありました。机を四角に並べて、皆さんの顔の見える輪になる形での懇談会でした。

当事者からは、「移動支援を使いたい。」「今の工賃ではタクシーを使うのは難しい。」「グループホームが地元の原町区にも欲しい。」「お父さんが入院して1人で暮らしている、退院したらお父さんの面倒をみるのが心配。」「旅行に行きたい。」等々、それぞれの思いのお話がありました。



ご家族からは、やはり「移動支援、ショートステイが欲しい。」「相談できる場所が欲しい。」「成年後見制度について知りたい。」「65歳問題について教えて欲しい。」「親の高齢化による心配。」「そして、「回答書についての感想、その後協議、議論はされているのか。」

との疑問もぶつけられました。

事業所からは、「権利擁護センターが必要。」「ヘルパー研修の時に、障がい分野についてのこともコマ組み込んで欲しい。」「職員の合同面接会もしてほしい。」「優先調達法についての市の調達方針を知りたい。」「区分の不服申し立てで適正に調査していただいて良かった。今後も必要な支援を受けられるように一人暮らしを想定して調査して欲しい。」「相談支援より「家族がすべてを抱え込んでいる実態がある。」との話がありました。

行政の皆さんからは「要望書を受けて、また懇談会でもお話を聞いているが…行政だけでは出来ない、でも大まかな今の困りごとを絞ってもらえば、具体的な話が出来ると思う、回を重ねて、悩みや要望の的(まと)を絞り、優先順位をつければ具体的にしていけるのでは。」と前向きなお話がありました。

そして皆さんから共通して、また定期的に懇談会を開いてほしいとの希望がたくさんありました。ニーズが反映されるように、具体的にどうしたらよいのか、当事者、家族、事業所、行政の皆さんで、これからも声を出し合いながら、誰もが安心して住みやすい南相馬にしていけるために取り組んでいきましょう。



～参加された方の感想より（一部掲載）～

- ・「旅行にいきたい」と言えたことが良かった。
- ・市の職員と話ができてよかった。聞いてもらえてよかった。また、参加したい。
- ・みんなの話、いろいろきいてよかった。僕たちの声をもっと聞いて欲しいのでこのような話し合いの場をもっとあればいい。期待しています。
- ・次の勉強会はいつですか？

当事者の感想



- ・役所の人と会話ができて良かった。1年に1～2回は開催したい。要望書に対する回答書の説明をしてもらってよかった。ダメの理由も聞けて良かった。
- ・知識、情報を蓄えていく。それは自分で動くときに必要。先は明るくきれいな道路ではないけれど。途中は色々あるものだから。
- ・当事者の声を行政に言えたという事は良い。
- ・進んでいる所の勉強会、そのような所と連携をとっていけると良いと思った。
- ・何もしないと相手にも通じない。みんなで声を出す。もっとたくさんの人たちの話も聞くことも必要。これから先、子供たちの事を考えていくこと。要望していくこと。
- ・初めての参加だが、活発な話し合いだった。15年前、いわき市で移動支援の有償ボランティアをしていた。15年経っても、地域の差があることを感じた。障害の重い軽いに限らず、重さ（人として）は同じ。自分だけの事ではない。障害のある子（人）はいなくならないから。自分の元気なうちに、将来的な見通しを持ちたい。懇談会の継続が必要。
- ・65歳問題のことをもっと知りたい。我が子の将来を考えているが、現在65歳の皆さんはどうされているの？

家族の感想

- ・大勢集まったところへ市が飛び込んでくれ、すごいことだ。やっても無駄という事はない。学ぶことがある。自立支援協議会や、事業所連絡会が今後は機能すると良いと思う。
- ・自分たちでやれることは自分たちでもやるべき。そうでなければ強くなっていかない。自分たちはここまで、役所にここを…とそのような話が次回からできると良い。
- ・懇談会に来てくれた行政の方から、来ていない行政の方にも伝えて欲しい。
- ・市の担当さんも努力して下さってうれしい限りですがしっかり希望もお伝えし、それぞれの立場の見解もやり取り出来れば、もっともっとしあわせ(福祉)が広がると思います。色々と前向きに考えてくれている事がわかり安心しました。今後も私たちの声によりそって一緒に少しずつ改善して頂けたらと思います。

事業所職員の感想